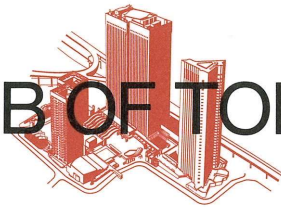




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ビセンテ・ジア会長

◎本日の例会 回卓 話「薬物乱用の現状について」

1月24日/第495回例会

警視庁生活安全部薬物対策課長警視庁警視 横田 勝氏

回第4回クラブ協議会 (例会後13:40~15:00)

テーマ「創立の原点を見つめて

—過去を振り返り、未来を築こう—クラブ奉仕を通して」

(親睦活動・R情報・会員増強・例会のあり方を中心として)

◎先週報告

回幹事報告

第2750地区地区大会 [4/12(土)13(日)] への登録をお願い申し上げます。

回慶事披露●誕生日祝/柴田陽三君 (1月22日)

回出席報告●会員67名・出席50名・欠席17名 (出席規定免除者2名)・12月修正出席率90.97%

ビクター (5名 敬称略・順不同) / 稲川健二 (東京世田谷南RC) 倉持清一 (東京蒲田RC) 石黒康 (東京五反田RC) 田村達也 (東京日本橋RC) 矢橋信雄 (東京南RC)



順不同・敬称略

1月17日/ 9件32,000円

本年度累計 1,624,770円

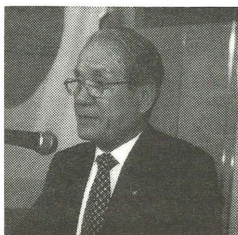
多額のご寄付を有難うございました。

渡邊 治/今日は卓話をやらせて頂きます。どうぞ御寛容のほど。柴藤清三郎/誕生日祝ありがとうございました。保森 登/先週は風邪の為、例会の理事会休ませて頂きました。後藤信夫/本年もよろしく。昨年末にハンディが6となっていました。横山秀明/明けましておめでとうございます。小杉真史/今年年男です。佐藤さん有難うございました。清原元輔/新保さん写真ありがとうございました。四分一勝/娘が結婚することになりました。気分はもうジジイです。谷村義雄/本年はじめてのニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました。

回卓 話 「ポール・ハリス没後50周年に思うこと」

当クラブ会員 渡邊 治

1月17日例会



①ポール・ハリスは1947年1月27日、78才でこの世を去られました。この1月27日は没後50周年です。この偉大なロータリーの創設者を偲んで、ロータリーについて考えてみたいと思います。

ロータリーは1910年代の眞摯な議論と厳しい試練を経て、1923年に思想体系としても完成されました。この思想の中心理念は職業奉仕にあります。職業奉仕を簡単に要約することは誤解を生みかねないので危険ですが、敢えて言えば次のように要約できるのではないのでしょうか。「すべてのロータリアンは自己の職業を天職と心得、その職業の遂行に際しては、最高の正義と職業倫理を旨とし、金銭を伴う取引にあつては、取引関係者がすべて潤い、満足するよう心がけなければならない。さらにロータリアンはこの精神を、事業の遂行においてのみならず、日常の生活、社会生活においても行住坐臥、実践に努めなければならない。このような実践を通じ企業は顧客の信頼をえて成功すること間違いなく、企業の成功は地域社会を明るくし、地域社会の繁栄は社会全体の繁栄をもたらす。」

職業奉仕は多くの場合、「職業倫理」、「商業道徳」、「正義」、「公正」等々むずかしい言葉で説明されるが、この概念を延長していけば、最終的に行きつくところは結局は「相手の立場に立った取引」であり、「思いやりの心」ないしは「寛容の精神」であり、さらに言えばロータリーの公式標語である「超我の奉仕」(フランク・コリンズ)にはかたまりません。

職業奉仕とは本来個人の精神の問題であり、これをいかに高揚し、いかにして自己の職業の質を高めるかは、会員個人しか解決できない問題であり、クラブが団体を介入するものではありません。ロータリーの本質が、「個人で行う職業奉仕にある」といわれる所以であります。

②ここで職業奉仕と社会奉仕との関係について考えてみたいと思います。職業奉仕の基本概念である職業倫理、商業道徳、思いやりの心等々を日常生活、社会生活の場で実践すれば、それはささやかなものではあっても、世の為、人の為になる行いに通ずるものであります。

言葉を換えて言えば、職業奉仕の実践は必然的に個人で行う社会奉仕に結びつくものであり、従って個人で行う職業奉仕と、個人で行う社会奉仕は表裏一体、不可分の関係にあると申せます。

今日ロータリアンの中には、団体で行う大型の社会奉仕こそが、ロータリー本来の奉仕であり、ロータリーの原点はここにあると解釈されている方が少なからずおられるように見受けられますが、このような見方は正しいものとは申せません。ロータリーの原点は、ささやかであってもいい、お金のかからないものであってもいい、「超我の奉仕」の心のこもった職業奉仕=即個人で行う社会奉仕の実践にあるのであって、1923年決議第34号「社会奉仕に関する1923年の声明」がその末尾で「クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個人の力を動員するものの方がロータリーの精神によりかなっていると云える」と述べている理由もこの点にあるものと申せます。

とはいえ、現実にはクラブ主導で行う大型の社会奉仕活動が避けられない場合も十分考えられます。団体で行う奉仕だって立派な社会奉仕活動に違いありません。ただわれわれロータリアンは、このようなプロジェクトに参加する場合も、「個人で行う職業奉仕こそロータリーの原点」との自覚を自己の心に強く刻み込んでおくことが肝要かと思えます。

私たちは改めて「ロータリーは奉仕をする人びとの集ったクラブではあっても、団体で奉仕をするクラブではない」とのロータリーの本質をしっかりと把握し、今後とも正しいロータリーの道を力強く前進のする決意を新にし、その実践を誓うことこそ本日の没後50周年記念に際しての私達ロータリアンの義務ではないかと考えます。

◎当クラブ10周年記念ボランティア活動助成金贈呈先よりの礼状

東京新南ロータリークラブ様

平成9年1月9日

拝啓、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年の暮れ、東京新南ロータリークラブの助成を受けることができましたことを心より感謝致しております。まだまだ力のない草の根市民団体であり、なかなか思うような活動が出来ないのが実情ですが情熱だけでは何処にも負けないつもりです。いただきました助成金は、本年度の目標の一つでもある地域リーダーの育成と全国各地への支部開設をめざし、新たなネットワーク作りに使わせていただきます。より充実した教育支援活動をめざし努力してまいります。

先日、助成金授与式で撮りました記念写真と会報等を同封致しました。お読みいただければ幸いです。今後ともご指導ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。 敬具

東南アジア教育支援グループ

アジアの子供たち

代表 飯野 マリア・カルミナ

◎青少年交換（派遣）学生からの便り

塩屋 未来さん（9信）

皆さんこんにちは。今月の報告は11月27日から始まった10日間のSouthern Safari Tour、これは私のいるSydney地区、Newcastle地区のロータリー留学生の旅行でCanberra Melbourne等をバスで移動しながら見て来ました内容から始めます。

11月27日Sydneyを出発した私達は4時間半程かけてGundagiに到着。もちろん寝るのは毎日テントの中で、私の初めてのテントパートナーはベルギーから来た女の子でした。次の日はEchucaに向いました。ここはVictoria州で私にとっては初めてだったのでもとてもワクワクしました。この日の夜は最も楽しい夜のうちの1つでした。夕食の後、皆でキャラバンパークの中の広場に行き夜8時から9時までほとんどの留学生でサッカーをしたのです。この夜で皆急に仲良くなったという感じがしました。私は今回の旅行の間毎日メキシコから来た女の子（Gabi）と一緒にジョギングをしていました。キャラバンパークの中をぐるぐる30分程走っていた私達は何度もpossum（フクロネズミ）を20匹ぐらい見ました。次にBallaratと云う場所では金鉱を見学し、その後そこを流れている小川で金の探し方も習い皆必死で探しました。私も1mm四角の小さな金を見つけたので、紙に包んでお財布に入れてあります。

そして今回の旅行で私が一番楽しみにしていたのはMelbourneで、2日間思い思いの場所をゆっくりと見ることが出来ました。Melbourneは古い建物と高層ビルが隣りどうしに建ち並び、街の中の公園には沢山の木々が深緑の葉を茂らせているとても美しいものでした。次に向ったのは山々に囲まれた小さな町Beechworthです。ここでの夜は大きなキャンプファイヤーがたかれBeechworth RCの人達も訪ねて下さって私達留学生は主に国ごとで出し物をする、いわゆる「お楽しみ会」をしました。私達日本からのグループは2つに分かれ14人の女子達はドレスアップして歌をうたい、私達4人は剣道と柔道をするようになりました。マイクで説明し途中で英語のせりふを入れたせいか、“Japanese fighting”と言って皆、大喜びでした。この小さな町もゴールドラッシュの頃にはとても重要な町でかつては首都の候補にあがっていたと言うからびっくりです。

旅行が終わり新しいホストファミリーの家（Mr and Mrs White）に落ちついた私は12日からは1月の末迄続く夏休みに入りました。

12月25日クリスマス。朝起きると皆きれいに飾られたクリスマス・ツリーの周りに集まります。そしてパジャマのままソファーに座り、ホスト母がプレゼントについている

名前を呼ぶ迄そわそわしながら待つのです。私も沢山のプレゼントを頂きました。うれしさの半面帰りの荷物の重さを心配しています。

先日、帰国の為の飛行機の席も予約しましたのでお知らせします。3月23日(日) 10:30 Sydney発 JL 772/B 3月23日(日) 18:00 成田着です。

26日から3泊4日でBlue Mountainのそばの大きな湖にホストファミリーと一緒に大きなボートを持ってキャンプに行きました。大晦日はHarfour Bridgeの周りでNew year's Eve partyと呼ばれた大きな花火大会があり私達はボートの上から花火鑑賞を楽しみました。オペラハウスやその周りはものすごい人ばかりでした。結局家に着いたのは午前2時半で元旦は皆昼近く迄寝ていると言う状態で素晴らしい経験をしたオーストラリアでの1996年は終わりました。

この様な機会を与えて頂き本当に有難うございました。今年はもう日本に戻る年です。残りの生活を大切に過ごしていこうと思います。

都築麻衣子さん（5信）

こんにちは。今はまだ1stホストファミリーの家にいますが、このReportがつく頃には2ndホストファミリーに移っていると思います。

11月19日から一泊でColumbusから1時間半ぐらいの所にあるGrand Islandに行きました。ネブラスカに来ている留学生、未来の派遣ローテックスなどの他、日本人は女の子が4人いました。あと、去年私の青山学院高等部で一緒だったRachel（ホストクラブ：新南RC）にも会えてすごく楽しかったです。殆どの人は全く寝ないでホテルのホールでゲームをしたり、ダンスをしたりして友達も沢山できました。

留学生だけのミーティングの時、1人1人問題や悩みを言って、私は特になければ、思ってたよりも皆は問題もあって苦労しているようでした。

ネブラスカはとても寒くて11月10日雪がたくさん降って道路が真っ白になりました。Grand Islandから帰ってきた時にColumbusでは24℃、結構暖かいんだなと思っていたら次に-5℃、すごく驚きました。こんなに寒いなんて私は来春迄生きていられるか心配です。でもX'mas Vacationには少し暖かいアリゾナに行きます。

11月5日には大統領選挙があってその日はどこに行っても日本の選挙制度を聞かれて説明するのに苦労しました。

そういえばRachelは日本で買ったと言う工事のおじさんと同じ服装をしていました。広がったズボンに「たび」を履いていて、友達に日本で買ったと説明しているのを見て日本ではこういうのを着ているのかと思われそうで心配でした。RachelもAnnieもすごく日本が好きで、アメリカに帰って来ても多少変わった使い方ではあるけれどいつも日本のものを身につけていてすごくうれしくなります。

11月30日、今日テキサスから帰って来ました。車で15時間ぐらいかけてホストファミリーのお母さんの家について海に行ったり、ショッピングをしました。ネブラスカには海がないので、みんな初めてだと言ってすごく喜んでいました。

明日は引越して今のホストファミリーと別れるのはいいやだけれど次のホストファミリーもとってもいい人だしAnnieの家から2～3分の所なのでとっても楽しそうです。ネブラスカはすでに-10℃ぐらいで雪もすごくたくさん降るけれど、頑張っています。皆様もお元気で

◎1月臨時理事会議事録

1月17日(金)例会前 11:50～12:20

東京全日空ホテルB1 瑞雪の間

出席者 河原、青野、平井、四分一、武下、渡部、保森、田辺、大日方、荒木（順不同・敬称略）

決議事項

1. 新会員候補者推薦入会を承認。

◎次週予告

1月31日／第496回例会

◎卓話予定 「男のおしゃれ」

美・ファイン研究所代表 ザ・ベストメイキャップ・スクール校長 小林 照子氏

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、

大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、

島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、

関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

（編集担当順）